

舗装長寿命化計画策定支援 ～安全と安心を確保する 持続的な道路管理～

○ このようなことでお悩みではありませんか



○ 舗装長寿命化（維持管理）計画とは？

舗装の診断結果

— : 修繕箇所
— : 健全箇所

将来

舗装は、重交通の多寡により劣化の進展に大きな差があるとともに、走行速度に応じて求められるサービスレベル等が異なることから、それらに応じた管理が必要である。そこで舗装長寿命化計画は、メンテナンスサイクルを確立し、長寿命化・LCC縮減を目指し策定する。

○ 舗装長寿命化計画作成の主なメリット

1. 補助金申請への活用

- 国からの補助には、交付金(社会資本整備総合交付金)及び公適債(公共施設等適正管理推進事業債)があるが、その申請に舗装長寿命化計画を活用することが可能となる。

2. 計画的な維持管理を実践

- いつ何処を修繕するか、計画されているため、限られた予算で効果的・効率的に修繕を実践することが可能となる。

3. 抜本的な舗装修繕の実施

- 路面表面を直すだけでなく、路盤・路床から修繕することで、舗装構造の修繕を行い、舗装の長寿命化を図ることが可能となる。

4. 本来、職員が担うべき業務に集中

- 職員の不足、住民対応に対して計画等を活用することで、職員が担うべき仕事に集中し、教育訓練、技術伝承を図るなど選択と集中が可能となる。

お問い合わせ



株式会社 **オリエンタルコンサルタンツ**
本社 東京都渋谷区本町3-12-1 住友不動産西新宿ビル6号館
TEL 03-6311-7551 FAX 03-6311-8011



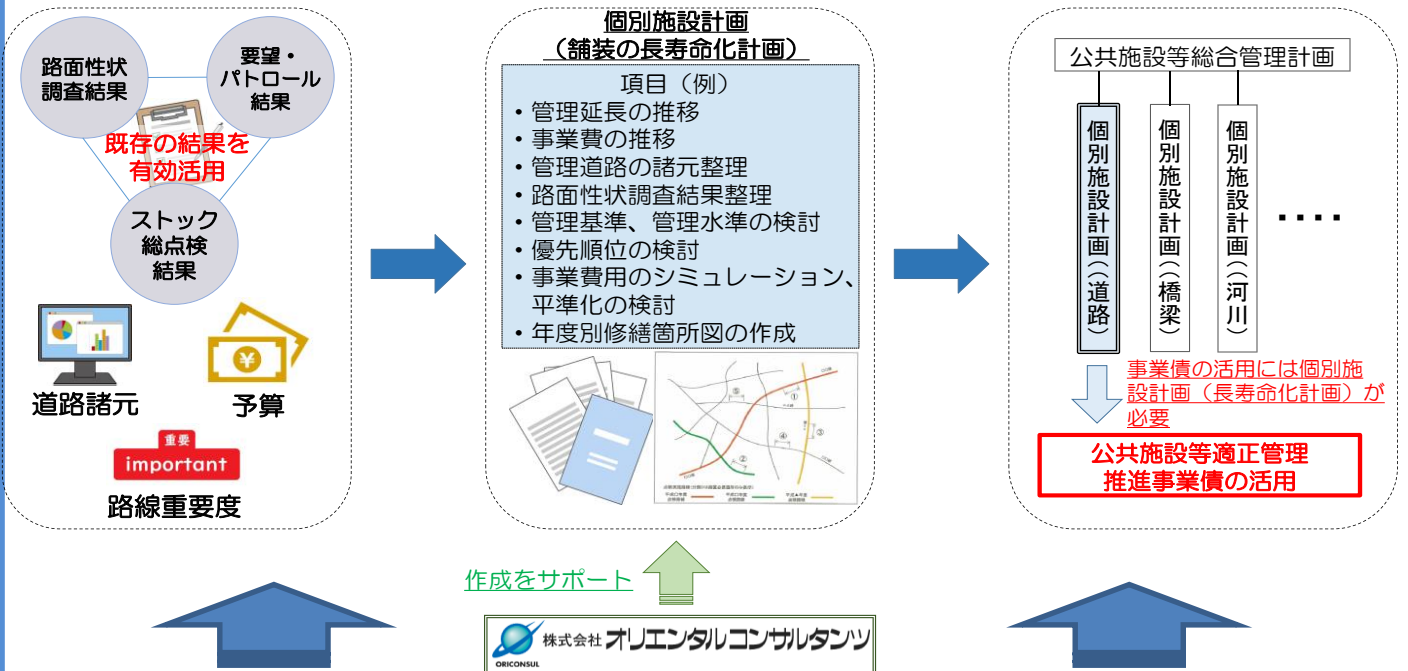
株式会社 **オリエンタルコンサルタンツホールディングス**
東京都渋谷区本町3-12-1 住友不動産西新宿ビル6号館
TEL 03-6311-6641 FAX 03-6311-6642

舗装長寿命化計画策定をご支援します

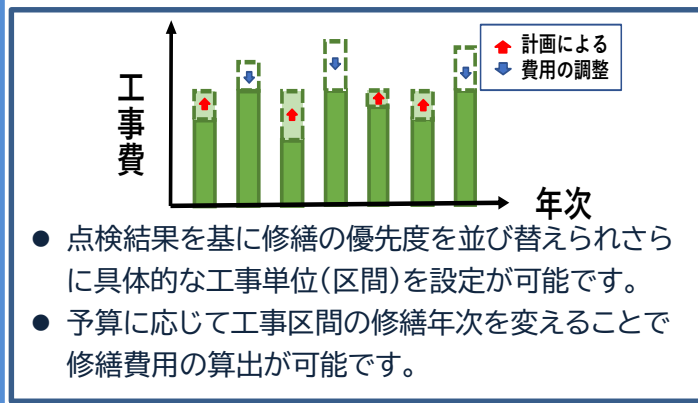
ご提案

既存の舗装の点検結果を基に、道路諸元情報や路線の重要度、予算状況を踏まえた舗装の長寿命化計画の作成をサポートします。

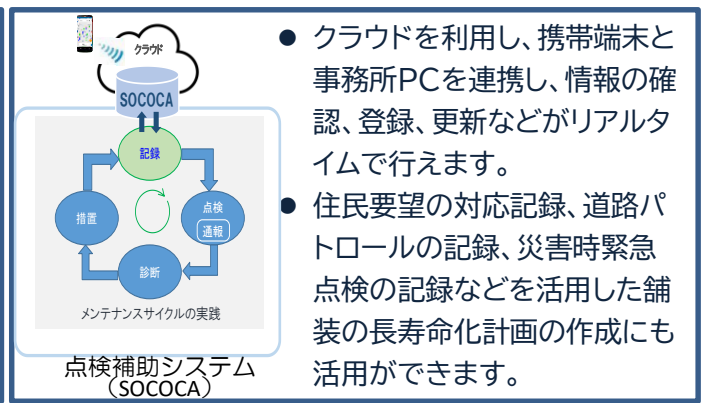
舗装維持管理に関する事例は、既に複数の事例があるものの、地域の特徴などを踏まえた点検手法や住民対応についてデジタルトランスフォーメーションにより維持管理手法を変容する必要があります。



◎インフラマネジメント支援システム(舗装版)



◎巡回点検支援・住民通報管理システム



主な検討内容

- ①舗装状況の整理と課題抽出
- ②舗装維持管理の管理目標の設定
- ③道路分類と点検手法の検討
- ④管理指標・管理水準の検討
- ⑤5年間の短期修繕計画の策定
- ⑥長期の予算シミュレーション
- ⑦各年の修繕箇所更新計画の検討
- ⑧舗装長寿命化計画更新計画の検討
- ⑨職員への教育方法

導入までの一般的な流れ

